

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・めまぐるしい天候に左右される時もあるが、夏休みはまだこれからである。品ぞろえとその量、接客の向上、さらに努力したいと思っている。売上と来客数の伸びが道を示してくれている。
		乗用車販売店（統括）	・9月以降、新商品の投入計画があるため良くなる。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費税絡みのメディア情報が奏功しているのか、リフォーム、太陽光工事関係の見積、受注は多少出てきそうである。販売側はその波に乗りたいところであるが、地上デジタル放送、家電エコポイント制度を振り返ると、後に来る状況をどうするのか、頭の痛いところである。
		百貨店（店長）	・参議院選挙も終わり、政治も一服し、夏本番の中で気分が再び上がり始めることを期待している。
		百貨店（店長）	・国会のねじれ現象が解消したので、アベノミクスに期待している。円安効果も出てくる。
		スーパー（経営企画担当）	・単価の上昇などが持続すれば若干は上向くのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・これからお盆や秋の行事があるので、やや良くなる。
		コンビニ（店長）	・7月下旬の夏まつり期間中は予想より気温が大変低く、降雨も災いし、人出が大変少なく、当店始まって以来の最悪な結果となった。中心市街地の空洞化が一層進んでいるからかかもしれない。今後、秋風とともに状況が改善されるのではないかと期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・9月に主力車の新型車が発売されるため、初期受注が見込まれる。
		乗用車販売店（経営者）	・参議院選挙で大勝した自民党支持者の多くの県民がアベノミクスにあおられて希望を持ち、購買に走って实体经济に貢献してくれるかもという希望的観測を持っている。
		乗用車販売店（経営者）	・来年春の消費税増税前に、今年の年末ごろまでに自動車を購入したいという客の声を耳にするようになった。
		乗用車販売店（販売担当）	・3か月後になると消費税増税を見越した駆け込み需要が増えるの見込んでいる。新しい車が出る予定も今のところないのでそれ以上は望めないが、駆け込みで若干は良くなる。
		住関連専門店（経営者）	・低迷していたリフォーム、エクステリア部門の単価の高い商品が上昇に転じてきている。また、余暇を楽しむための商品や、行楽用品の動向も前年同月比で上向き始めている。購買心理として、景気に対しての安心感が生じてきているようである。
		スナック（経営者）	・選挙が終わったので人が出ると期待している。
		都市型ホテル（営業担当）	・秋から冬場、年末にかけては例年景気が良くなってくることもあり、今の経済状況からしてもそんなに悲観するようなことはない。期待感も込めてやや良くなると考えている。
		旅行代理店（経営者）	・全体的に景気、経済は上向きと感じているが、末端までの影響はあまりない。全体のムードが上向きになっていることで、これから秋にかけて相当な動きになってくるとみている。
		旅行代理店（営業担当）	・夏から秋にかけては旅行需要が増加するからである。
	通信会社（営業担当）	・9月以降も残暑が続くものの、夏休み期間での出費がかさむことで9月から10月にかけては落ち着く。	
	遊園地（職員）	・新規施設のオープンにより、多くの客の来園を期待している。	
	美容室（経営者） 設計事務所（所長）	・今月から客の入店回数が少しずつ増えている。 ・自民党が圧勝した影響で、消費税は確実に上がるということで、駆け込み需要に期待している。これから混み合ってくるので万全の準備で対応したい。	
	変わらない	商店街（代表者）	・アベノミクスの景気浮上策はいつ効力が出るのか分からない。夏祭りで一時的にでも商店街に人は来るものの、恐らく買物は難しいとみている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・参議院選挙が終わり、これから消費税増税が行われることになるし、T P Pの交渉も気掛かりである。先の見通しが難しいので購買力が上がるとは思えない。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・良くなる要因が見当たらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・8月のお盆過ぎから秋商戦についてはまだ見えてこない面が相当ある。
		百貨店（営業担当）	・このところ株が頭打ちで乱高下しているのと、ガソリンを始め、生活必需品の値上がりが見え始めてきたので、一進一退の状況が続く。

百貨店（販売促進担当）	・参議院選挙での与党圧勝により、今後の追加経済政策の実行に期待したい。地方都市では、今のところアベノミクスの効果を実感できておらず、今後2、3か月は現状維持である。
百貨店（販売促進担当）	・参議院選挙も終了し、落ち込んでいた来客数の動向が気になるが、基本的に節約志向は変わらず、大きな変化はない。
百貨店（店長）	・中央の大手企業の好況がいずれ地方にと思っていたが、具体的にその時期が見えない。
スーパー（店長）	・周りでは夏の賞与が出せない企業が多く、当地域ですぐに景気が上昇するとは到底思えない。
スーパー（店長）	・曜日ごとの客数は数か月間変化がない。
スーパー（総務担当）	・参議院選挙での自民党圧勝後、景気に対する期待感から少しは売上が上がるかと思ったが、特にそういうことはなかった。来年の消費税増税もあるので客の財布のひもが緩むということはない。
スーパー（統括）	・市況の乱高下はあるものの、売上高、来客数共に堅調に推移しており、消費税増税が具体化するまでは今の状況が続く。
スーパー（商品部担当）	・市場全体が値上げ傾向にあり、消費拡大にはつながらない。
コンビニ（経営者）	・近隣の競合店が閉店したものの、最近近くに別の店が開店したので、変わらない。
コンビニ（経営者）	・コンビニエンスストアの季節変動では夏、7～8月がピークである。いずれにせよ気温が低下すると下がってしまうことになる。今がピークで、秋口からは若干売上、来客数共に落ちてしまうと言わざるを得ない。
衣料品専門店（統括）	・先月ごろから祭り用商材の注文が増えている。8月の夏祭り用としての注文が安定してきており、個人使用の衣装も順調である。何とか秋まで継続できれば良いと考えている。
衣料品専門店（販売担当）	・今月は徐々に悪くなり、そこに参議院選挙が追い打ちをかけたような形である。客との会話でも、身の回りの生活必需品や食卓に上る物が相当値上がりしているという痛切な声が聞かれる。そのような状況では、プラスに動くような要素は見当たらず、今後も変わらないのではないかという印象である。
家電量販店（店長）	・秋へ向かって新製品が多く発売されるため、期待は持てる。テレビの回復が今後の課題である。
乗用車販売店（営業担当）	・客の車に対する関心がまた少し遠のいた感があり、思うように商談が前進しない。
乗用車販売店（販売担当）	・2～3か月前と全く経済状況は変わっていないが、当店の得意先のホテル、旅館関係のうち、エリアで一番大きなホテルが東日本大震災の後遺症のような感じで、今月で閉鎖することになり、品物を納入していた業者も廃業に追い込まれたりしている。良くなる条件は全く見当たらない。これ以上、そう極端に悪くならないとは思いますが、このまま低水準での推移が続く。
乗用車販売店（管理担当）	・ガソリン価格が急上昇しているが、必要時の燃料は消費する。しかし、車の買換えについては、ガソリン車以外では現在はハイブリットカーであるが、価格が高くコンパクトなハイブリットカーは少ないため、買換えにはつながらない。
自動車備品販売店（経営者）	・特に良くなる理由が見当たらないので、現状維持が精一杯である。
住関連専門店（店長）	・客は価格に敏感で、価格競争が厳しくなる中、買上点数も厳しい状況である。
住関連専門店（仕入担当）	・消費税増税をにらみ、消費に慎重な様子がうかがえる。食料品、ガソリン等の値上げも重なり、住関連品の購買は今後も同様の傾向が続く。
一般レストラン（経営者）	・参議院選挙後、政権が安定したが、アベノミクスの効果は一部の企業に反映されているものの、なかなか末端まではまだ実感が出て来ないので、まだ時間がかかる。
一般レストラン（経営者）	・夏休みであるが、客の動きが例年より悪く、今年良くなるような傾向は見えない。
一般レストラン（経営者）	・地方ではまだまだ上昇する雰囲気はない。願ってはいるものの、政権が唱えることが現実になるのは程遠いことに思える。
スナック（経営者）	・例年8、9、10月と売上が落ちるということを踏まえ、現在客の動きが少し良くなっているの、今と変わらないくらいに来店してもらえないのではないかと期待している。
スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、現在の悪い状態からこれ以上変わらないで欲しいということである。アベノミクスがなかなか末端まで届かないので、あまり信用していない。なんとかならないものか。

観光型ホテル（経営者）	・先行きが非常に不透明である。先日もまた円高が進み、株価が下落している。国民が生活に豊かさを感じられないなかで、必需品の値上げが先行されると、余暇を楽しむ気持ちにもなれないのではないかと思う。	
観光型旅館（経営者）	・現状の入込では前年並みと予想している。	
都市型ホテル（支配人）	・先の予約状況からして、それほど良くも悪くもなく、同じような状態が続く。	
都市型ホテル（スタッフ）	・8月は年間で一番多忙な時期でもあるので多少は良くなると思うが、9～10月あたりは逆に一番稼働が悪い時期なので、それほど良くなる可能性はない。	
旅行代理店（副支店長）	・現況では変わらない。景気回復と言われているが、地方が回復傾向となるまではかなり時差がある。人口の多い大都市の受注が上がるのは当たり前で、地方の受注が上がって初めて景気回復と言えるのではないか。燃料価格の問題や消費税増税の影響がこの先懸念される。	
タクシー運転手	・2～3か月前から当地域に同業者が増えたので、しばらくは平行線で行く。	
タクシー（経営者）	・不景気感があるので、この先も変わらない。	
通信会社（経営者）	・様々な物が値上がりし節約傾向にある中では、新規加入には結び付かない。	
通信会社（局長）	・個人消費の向上が実感できない。期待感ばかりが空回りしている。	
テーマパーク（職員）	・6、7月の入込状況が悪いのに加え、不安定な天候が続いていることから、アイスやドリンクなどの夏季向け商材の販売不振も続いており、期待が持てない状況である。	
ゴルフ場（支配人）	・予約は順調に伸びているものの、プレイ料金を納得しないと予約が入らないので、ますます客単価は下がっていく。	
ゴルフ場（業務担当）	・現在から向こう3か月先の予約の取込みについて、結構引き合いが来ているので、それなりの取込みはできるのかと感じている。ただし、皆できるだけプレイ費を安く考えているようで、単価は前年を下回っている状況である。潤っている中身としては、シニア層、年配客の利用が多くなり、ゴルフ場全体の利用者数を引き上げているということであるが、年配客はあまり余計なお金を使わないので、単価は出てこない。そのため、収益の改善はあまり見込めない。	
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪等の売上が前年とそれほど変わらないからである。	
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・2、3か月で変化があるとは思えない。	
その他サービス [イベント企画] (職員)	・燃料費の高騰等、先行きが不透明で慎重にならざるを得ない。	
住宅販売会社（従業員）	・景気の停滞感を脱した客層からの別荘需要が見込まれつつある。	
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税後の政府の住宅取得者への「給付措置」で対象となる年収制限が、当社の購買者層と合致しないことが予想され、増税後は販売が厳しくなる。また、原材料高で特に一般建築部門の原価が圧迫され、これまで通りの拡大路線は取りづらくなる。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・最近、経費増が目につくようになった。その割には売上が伸びず、苦戦している。
	商店街（代表者）	・駅前立地でありながら、観光客等、街を歩く客の減少を感じる。車のみが渋滞している。贈答需要についても、春の天候不順により農作物に影響が出て、良い商品が確保できない状況である。
	コンビニ（経営者）	・夏休みが終わり、来客数が減るからである。
	乗用車販売店（従業員）	・受注台数が減少しているので現在の状況が続く。消費税増税の動向で変化する。
	乗用車販売店（店長）	・このままの状態が続けばまだ良い方かも知れないが、消費税が上がるとともに物を買おうという客は減っていく。特に、高額商品はその分掛かる税も上がるので、厳しくなる。
	一般レストラン（経営者）	・このまま仕入原価高騰が続くととなると、価格見直しの影響により見通しは暗い。
	観光型ホテル（営業担当）	・国内旅行のトレンドが、世界遺産で盛り上がる富士山やスカイツリーなど、メディアの取り上げによるものも大きく、特定の地域に向いている。それ以外の観光地では影響を受ける可能性が高いと感じている。
	旅行代理店（所長）	・外国人の来訪は順調に増えているものの、団体ではなくあくまで個人なので、全体数の押し上げには至っていない。さらに、富士山の世界遺産登録で、山梨、静岡の富士山エリアの秋の団体受注が好調であるという情報をかんがみると、当地域の厳しい状況は今後も続く。

		通信会社（経営者）	・脱デフレは輸入品の価格高騰によるものだけで、实体经济は高く仕入れて安く売らざるを得ず、むしろ悪化している。この上、消費税が増税されれば完全に失速する。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・ガソリン代、その他購買品が値上がりする動きになっているため、来客数が徐々に減ってきて、やや悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・消費税増税が決まると駆け込みの仕事はなくなり仕事量が減少する。
		設計事務所（所長）	・今後の消費税の動向もあるが、大企業はともかく地方の中小企業には、今のところ景気向上や設備投資意欲を喚起させるような要素は感じられない。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の時限措置期間が終了すると同時に急激に冷え込むと予想している。
	悪くなる	商店街（代表者）	・冬の物を扱わないので、毎年秋が来ると悪くなるのだが、今年は7月の半ばごろに大型スポーツ店が出店したので、二重の意味で売上が落ち、かなり悪くなると覚悟している。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	・世界遺産に絡めいろいろな発想でイベントをしているが、あまりうまくいかない。花など自然の方でも様々なイベントをしているが、うまくかみ合っていないような気がする。良くなるような要素は全くない。
		スーパー（経営者）	・物価上昇圧力により更に悪化する。
		コンビニ（店長）	・近隣に同業他社が出店してくるため、影響を受け、3か月後は確実に悪くなる。
		高級レストラン（店長）	・昨年当社のビルに入居していた事務所が撤退した後、まだ後の入居者が決まっていない。それに加えて今月一杯でもう1店舗が出ていくことになっており、入居者の予定もないので、かなり厳しい状況が続く。
		タクシー運転手	・暑い日が続いてもタクシーの利用客が少ないのでは、今後ますますひどい状態になるのではないかと心配である。
		通信会社（経営者）	・中央ではアベノミクスの影響で部分的にバブル期を迎えているようだが、地方の街ではみじんも感じられない。地域の商店や中小零細企業がメインユーザーの当社にとって厳しい時期はまだ続くという予測しか立たない。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	食料品製造業（営業統括）	・富士山周辺の地域を中心に来県者の増加が見られ、ますますワインの販売量の増加が期待できる。また、8月に発表される国産ワインコンクールの結果も更に拍車を掛けるものと思われる。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・新規事業で土地を購入して0.5～1.5メガのソーラー発電の準備をしている。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・7月より新規品が立ち上がったが、当社全体としてはいまだに赤字を抜け出せていない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・国内に残る自動車関連部品は底堅く推移するが、まだまだ回復の勢いは弱い。秋から建設機械関連の生産に回復の動きが予想されている。新規開発品の動きも徐々に本格化する見込みである。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・宝飾品の需要期は秋口であることから若干の伸びは期待できそうだが、前年を上回ることができるかは疑問である。
		建設業（開発担当）	・東日本大震災の影響で作業員不足が続いているため、公共工事の労務単価が上昇し、発注単価も上昇、結果的に発注額も上がった。今後は、5年以上も続いていた安値受注からの脱皮が期待できる。また、自民党政権により公共工事への重要性が認識されているので、期待できる。
		通信業（経営者）	・売上等を見ると前年とほとんど変わらない状況だが、得意先の話の聞くと新規発注の気配が出てきた段階なので、期待感を込めてやや良くなる。
		金融業（調査担当）	・現在の状況が続く見通しである。建設関連では公共工事量の増加も予想される。
		金融業（経営企画担当）	・製造業についてはアベノミクス効果が波及してくることへの期待が大きい。サービス業では、富士山の世界遺産登録の効果が今後さらに大きくなるとの期待がある。
		司法書士	・本当にわずかではあるが、徐々に良くなっているの、そろそろ少し上向き加減を実感できるようになるのかなという気がしている。
	変わらない	食料品製造業（製造担当）	・当社の商品だけを買いに来ってもらうのは非常に難しいので、いろいろと呼びかけて、悪くならないように努力するだけである。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・今後の見通しは難しく、分かりづらい状況である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新商品を投入しているものの、全く予想すら付かない状態である。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・どん底状態が続く。

	金属製品製造業（経営者）	・受注量が多くなるという具体的な話は何もない。先のことが見込めないで、とても不安になっている。我々にも早くアベノミクスの影響が来ないかと待ち望んでいる。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・国内でどんどん生産できるようになれば景気も回復すると思うが、今の状態では考えられない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・中国からは大分仕事が離れて行きそうな感じだが、中国がダメだから国内に戻ると言うような話は全然聞かない。次に候補に挙がっているのがベトナムで、ベトナム調達をするといった話がかかり出てきている。海外シフトは全然止まらず、苦しい状況である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先からの新機種の受注量は、市場動向がまだ不鮮明であり、安定していない。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・参議院選挙は自民党支持が圧倒的多数で終了した。景況が若干改善されつつあるとはいえ、当業界の受注内容は依然として厳しい状況にある。早急に的確な景気対策を行ってほしいと願っている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月はやや良くなっている状況だが、これから2～3か月先は日々状況が変わるので分からない。これ以上は良くなれないと思うので、今の調子で下がらなければよい。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの3か月見通しによると、8月は大幅に減少、9、10月は若干増加基調となるが、一部車種は減産となる。国内的には若干の伸びにとどまり、海外でその分をカバーする状況で、売上は横ばい、コストがどんどん上がってきていることから収益面では厳しい状況が続く。	
	建設業（総務担当）	・極端に良くなるという情報や材料もないが、参議院選挙でねじれ状態が解消したこともあり、ここ1～2年のようなお先真っ暗といった状況からは脱しているため、今後はあまり変わらない。	
	輸送業（営業担当）	・今後もそこそこの暑さが続きそうなので、飲料水等の輸送の物量は良好に確保できそうである。その反面、暑い日が続き家畜等が餌を食べる量が減り、飼料等の輸送が落ち込んでいる。また、円安による原油高で燃料コストが上がり、利益の少ない状態が続いている。	
	金融業（役員）	・一部建設業や自動車関連では良くなりつつあるが、それ以外の業種においては、まだ大企業と違って中小企業の末端まで、良さが全然伝わって来ていない。	
	不動産業（管理担当）	・顧客によっては必要なものは価格を下げないでお願いできるが、上げる場合は他社との相見積りが相変わらず多いため、今後も当面の間は難しい。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・量販店の店長は、消費税増税が決まれば一時的に家電などの値が張る商品の購入は増えるだろうが、反面、日常の消費は落ちると警戒していると話していた。	
	経営コンサルタント	・市場の回復傾向が感覚的にも感じられる個々の企業は見受けられるものの、まだ様子見の段階と思われる。	
	社会保険労務士	・輸出産業は多少、派遣社員を増やしているが、いつまで続くのか不透明であり、先行きは大きくは変わらない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段の変化は見られない。肌で感じるようになるまでにはまだ時間がかかる。	
	やや悪くなる	化学工業（経営者）	・当地域では鉄骨加工、建築関連、金属加工の業種が悪く、当社製品の販売が伸びない。その上に仕入原材料の値上がり分を思うように転嫁できず、利益確保が難しくなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・安定した仕事はなく、先行き不透明である。
		不動産業（経営者）	・新築住宅、賃貸新築物件が次々と建てられているが、その反面、これまでになく空家、空室が増えている。消費のアンバランスが大きくなりそうで不安を感じている。
		広告代理店（営業担当）	・商品の値上げ、来年の消費税増税など不安材料ばかりで、この先の地方経済は相当悪化する、という話をよく聞く。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず利益がなかなか出ず、資金繰りが大変である。
雇用 関連 (北関東)	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・お盆明けから少し仕事が入っているので、今よりは若干良くなる予定である。
		人材派遣会社（社員）	・以前に比べ、周辺のホテル、旅館からの引き合いが増えてきている。その分集客を見込める状況になったと判断しているようである。まだ成約に至っておらず、どうなるかは分からないが、取引先が集客を見込んでいるという状況は明らかである。
		職業安定所（職員）	・企業に景況などを聞くと、受注が少し増えてきたという回答をするところが増えてきている。

変わらない	人材派遣会社（経営者）	・自動車関連等と電子電機の動きはほぼ横並びの状態かと思込んでいる。住宅関連は期待しているが、まだいまのところは一進一退である。秋口にかけて、衣料品がどのような出足になるかが不安材料である。小売店、百貨店等の販売はかなり伸びていると思われるが、微妙で不透明なところである。
	人材派遣会社（管理担当）	・派遣は順調であるが、夏季休暇の影響で求人求職は停滞する。
	職業安定所（職員）	・ここ数か月の新規求人の状況をみると、前年同月比で1月が1割減、2月はほぼ横ばい、3月は5.6%減、4月は8.6%減、5月は12.7%減となっている。6月は19.2%増加しているが、短期間の求人が相当数含まれている。対して新規求職者数については、4～6月にかけて追加の早期退職実施が何度もあり、増加幅は縮小してるものの、4月は前年同月比7.5%増、5月が6.4%増、6月も2.6%増と増加傾向が続いている。求人は減少気味、求職者は増加傾向という形である。企業訪問などで事業主に話を聞いても、依然新規求人などは厳しい状況であり、状況は変わらない。
	職業安定所（職員）	・ねじれ国会解消により動きはあるものと考えますが、地方波及には時間がかかる。
	職業安定所（職員）	・大手企業の多い県と比較すると、当県は中小零細企業が中心であることから、景気の回復を感じ取るまでには時間がかかる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業において正社員の採用条件が厳しく、受注予測が難しいためか採用意欲に強さが無い。景気回復の実感が見えにくい。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・景気動向がどうなるかは分からないが、実際問題として地方まで景気の上昇傾向は見られず、特に、営業職などの職種の増加はない。この時期、各企業の物品等の入替えなども低調であり、景気回復による求人増までにはもう少し時間がかかる。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・消費税増税など、身近に課題や問題点が多すぎる。
悪くなる	—	—